

2X RAS 導入マニュアル

(事前準備 編)

2015年7月

目次

1.	はじめに	
2.	2X サーバーのインストール前準備	2
3.	Windows の設定.....	8

1. はじめに

2X サーバーのシステム要件

- このマニュアルは 2X RAS v14.1 の導入をベースに記載しています。
- 本書は Microsoft Windows Server2012 R2 をベースに記載しています。
- リモートデスクトップサービスが稼働している Microsoft Windows Server 2008 R2/2012 R2
- マイクロソフト規定のハードウェア要件が必要となります。

2. 2X RAS のインストール前準備

2-1. リモートデスクトップサービスのインストール

2X サーバーはリモートデスクトップサービスが稼働している端末のみで動作します。

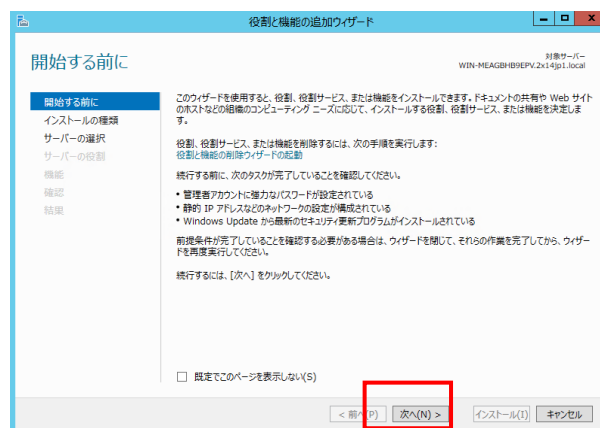
そのため、リモートデスクトップサービスのインストールが必要です。

リモートデスクトップサービスをインストールする方法は次の通りです。

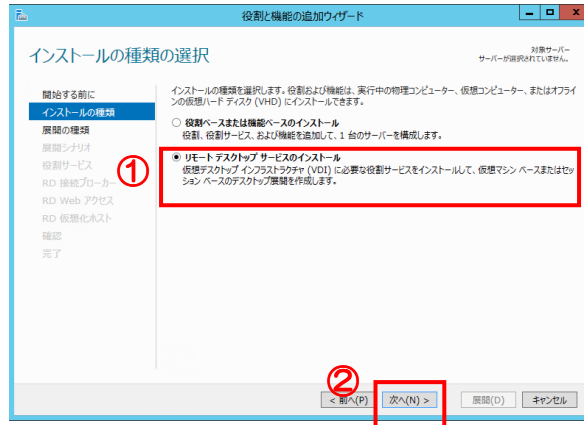
- ① [スタート] → [管理ツール] → [サーバermaneージャー] をクリックし、「サーバermaneージャー」を開きます。
- ② 「サーバermaneージャー」内にある「役割と機能の追加」をクリックします。



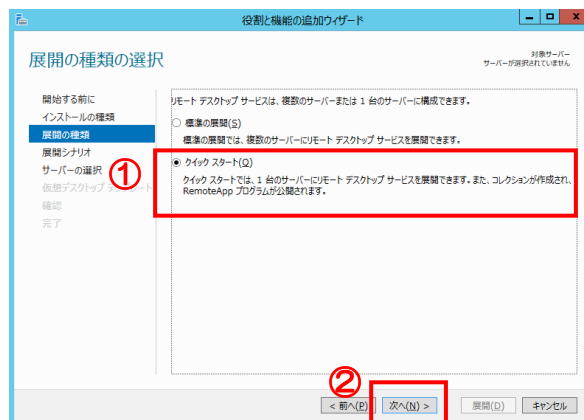
- ③ 「役割と機能の追加ウィザード」の画面が表示されます。「開始する前に」の内容を確認したら『次へ』をクリックします。



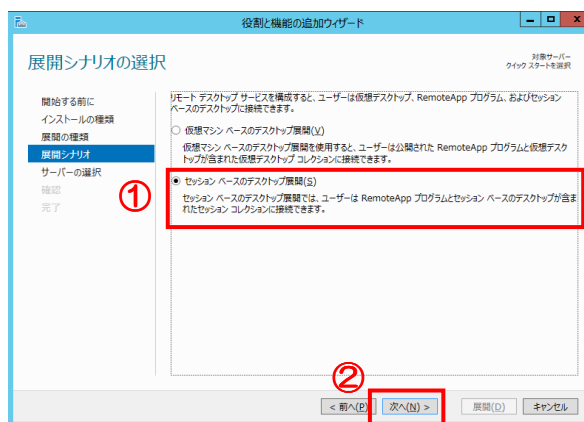
- ④ 「インストールの種類」画面で「リモートデスクトップサービスのインストール」を選択します。



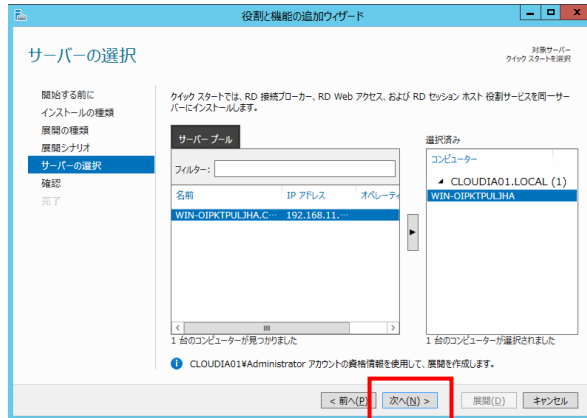
- ⑤ 「展開の種類を選択」画面で展開方法を選択し、『次へ』をクリックします。



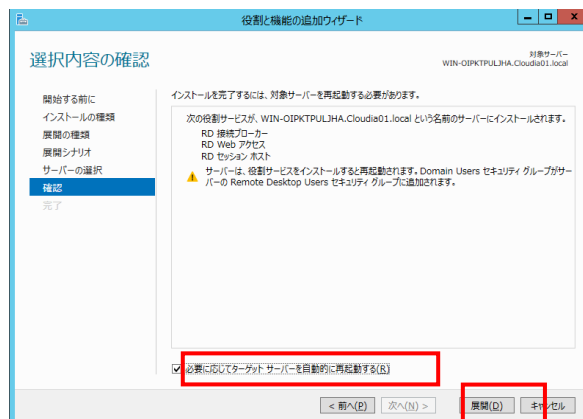
- ⑥ 「展開シナリオ」画面で、展開ベースを選択し『次へ』をクリックします。



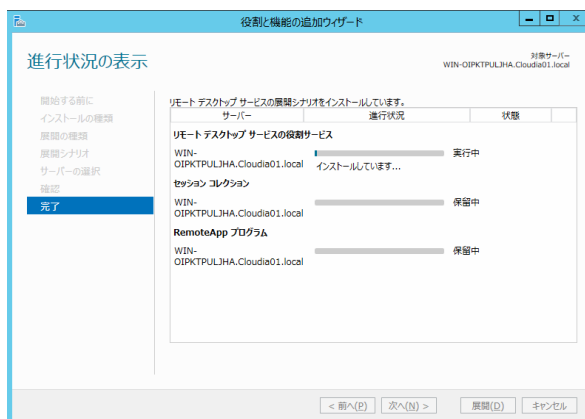
- ⑦ 「サーバー選択」画面で見つかったコンピューターからサーバーを選択し、『次へ』をクリックします。



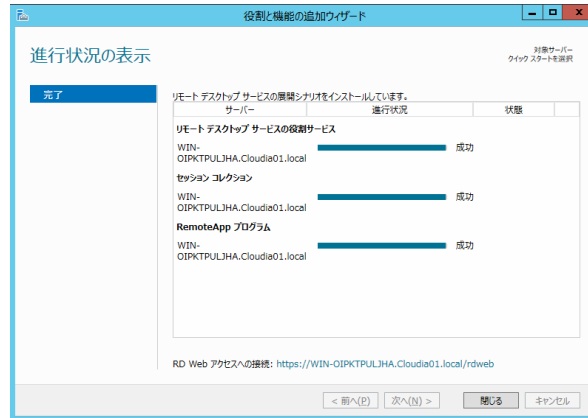
- ⑧ 確認画面が表示されます。内容に間違いがないことを確認しましたら、「必要に応じてターゲットサーバーを自動的に再起動する」にチェックを入れ『展開』をクリックします。



- ⑨ インストールが開始されます。



- ⑩ インストールが終了しましたら『閉じる』ボタンをクリックしてリモートデスクトップサービスのインストールは終了です。

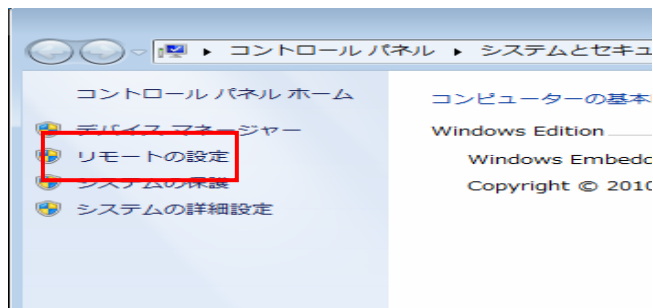


3. Windows の設定

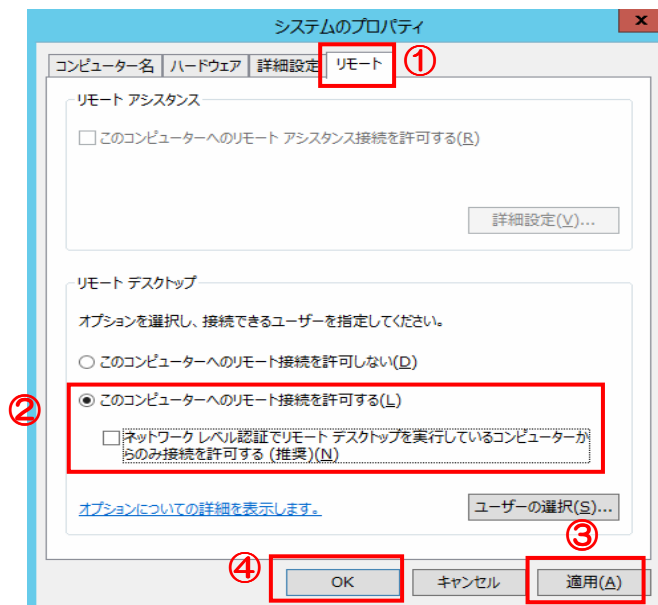
3-1. リモート接続を許可する設定

ユーザーが 2X を使用してアプリケーションを利用する場合、サーバーへのリモート接続を許可する設定が必要です。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。
- ② コントロールパネルホーム画面が表示されます。『リモートの設定』をクリックします。



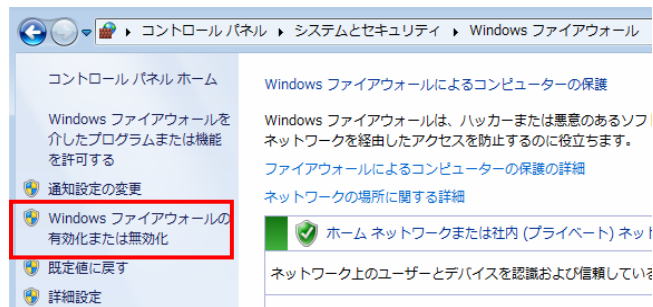
- ③ リモートタブの「このコンピューターへのリモート接続を許可する」を選択します。「ネットワークレベル認証でリモートデスクトップを実行しているコンピューターからのみ接続を許可する (推奨)」のチェックボックスのチェックを外し『適用』をクリックし、『OK』ボタンをクリックします。



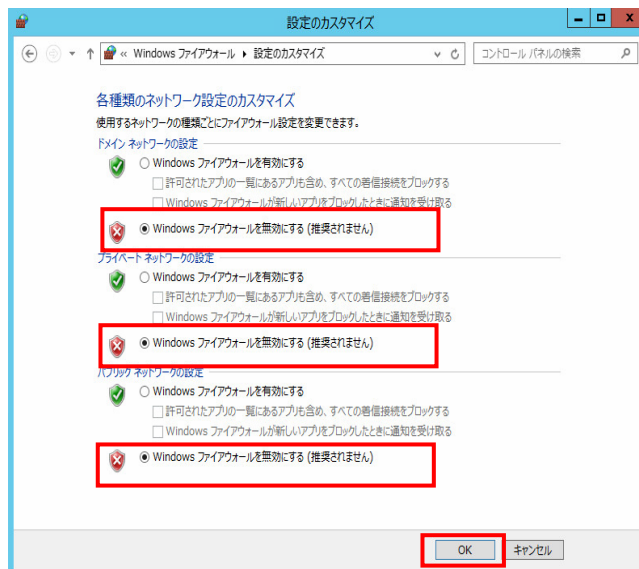
3-2. ファイアウォール設定

ユーザーが 2X を使用してアプリケーションを利用する場合、2X で使うポートが許可されている必要があります。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [Windows ファイアウォール] → 『Windows ファイアウォールの有効化または無効化』をクリック。



- ② 「各種類のネットワーク設定のカスタマイズ」画面が表示されます。「ドメインネットワークの設定」、「プライベートネットワークの設定」、「パブリックネットワークの設定」のすべて「Windows ファイアウォールを無効にする(推奨されません)」を選択し、『OK』をクリックします。

**注意事項**

Windows ファイアウォールを有効にしたまま 2X を使用する場合は、2X が使用するポートのみを許可して使用することも可能です。